

DAT テープの再生手順

地震研究所地震地殻変動観測センター広島地震観測所

- ★ work の下に観測点名などのディレクトリーを作って作業する
- ★ オリジナルテープは複製して、再生作業には複製テープを使用
- ★ 再生手順 stn (ファイル名)
テープの頭出しをする (必要な記録を取り込むための作業)
 >narecoud -t 10 stn ← 10 秒刻み程度のデータをハードディスクに取り込む
 >od -x stn | more ← od コマンドでヘキサダンプした内容から必要とする年月日を
 /ffff ffff で探す
- ☆ 再生本番
 >narecord -t time stn.dat ←データをハードディスクにコピーする
 time は必要な再生時間 単位は秒
 >rubbish stn ←圧縮データの解凍とゴミ取りを行う
 (stn.gps,stn.lst,stn_rub.000)のファイルが生成)
 >rm stn.dat ←解凍データ処理後は、ファイル容量が多く不要なので消去する
- >gpsread stn ←GPS データを解析
 stn.gps→stn.diff,stn.loc,stn.gmt
 stn.diff: gps 時刻とレコーダ時刻の差の一覧
 単位は秒。レコーダが遅れていれば正
 レコーダが進んでいれば負
 stn.gmt: GMT 用のスプリクト
 stn.loc: 緯度経度の一覧
- >cutsch stn gain ←schfile (スケジュールファイル) の内容に従って波形データの
 切り出す時間をエディタなどで作成しておく。
 (No,yy mm dd hh mm ss.s 切り出す時間)
 例 : 0001 99 10 17 00 00 00.00 60
 0002 99 10 17 00 01 00.00 60
 0003 99 10 17 00 02 00.00 60
 0004 ...
 0005 ...
- >dat2win ←win フォーマット化する。